

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：前田伸一

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
7.5.13 7.5.14	7.5.14 11:30～ 12:00	大阪市此花区 夢洲中1丁目	大阪関西万博	(公社) 2025年日本国 際博覧会協会	万博の概要と 地域における 万博の活用に ついて	507, 508, 5 09, 510, 51 1, 512, 513 , 514
7.5.20	7.5.20 13:30～ 16:00	広島県竹原市	・2級河川本川(現 地) ・竹原市役所	広島県庁河川 課ほか	特定都市河川指定に ついて	515, 516, 5 17
7.6.2	7.6.2 13:00～ 14:30	東京都千代田 区永田町2-2-1	衆議員第2会 館	厚生労働省老 健局介護保険 計画課	次期介護保険 計画の検討状 況の調査	601, 602, 6 03, 604, 60 5
7.6.4	7.6.4 10:00～ 11:00	鳥取市湖山町 南4丁目101	鳥取大学	三輪浩教授	流域治水の進 め方	606
7.6.30 7.7.1	7.7.1 10:30～ 17:00	大阪市此花区 夢洲中1丁目	大阪関西万博	鳥取県庁農林 水産部他	鳥取県の日 の調査	902
7.7.23	7.7.23 10:50～ 11:30	石川県輪島市	輪島港	能登港湾空港 復興推進室	港湾災害復旧 事業について	議連関係 経費資料 参照
7.7.23	7.7.23 14:00～ 16:00	石川県七尾市	七尾港 和倉港	能登港湾空港 復興推進室	港湾災害復旧 事業について	議連関係 経費資料 参照
7.7.24	7.7.24 9:30～ 11:00	石川県金沢市	金沢港	石川県	物流、クルー ズ、復興状況に ついて	議連関係 経費資料 参照
7.8.28	7.8.28 13:30～ 15:00	鳥取市尚徳町	鳥銀文化会館	文科省 上久保秀樹	学びの多様化 学校の説明	901
7.9.4	7.9.4 14:15～ 16:40	鳥取市東町1- 202	鳥取県議会公 明党控室	住宅政策課 県警本部	耐震改修計画 岩戸海難事故	905
7.9.8	7.9.8 13:00～ 14:30	高知県南国市 物部200	高知大学物部 キャンパス	深田陽久教授	産業としての 養殖業の将来 展望	903, 913
7.9.8	7.9.8 15:00～ 16:30	高知市丸ノ内 1-2-20	高知県庁	水産業振興課 土井課長他2 名	水産業におけ る女性・若者の 活躍推進	903, 913

7.10.8～ 10.9	7.10.9 10:20～ 10:40	東京都千代田 区永田町	総理官邸	石破内閣総理 大臣	政策要望書の 提出	1009 ～1017
7.10.8～ 10.9	7.10.9 13:30～ 14:30	東京都千代田 区永田町2-2-1	衆議員第1会 館	総務省自治行 政局行政課藤 本元太理事官	広域リージョ ン連携のレク	1009 ～1017
7.10.19～ 10.21	7.10.20 9:00～ 15:40	茨城県日立市 幸町1-21-1	日立シビック センター	日中友好協会 ほか	日中友好交流 会議出席	1020 ～1026
7.10.28	7.10.28 10:00～ 11:00	兵庫県神戸市 中央区下山手 通5丁目10-1	兵庫県庁	土木部契約管 理課 県民生活部暮 らし安全課	① 刑務所出所者 を雇用する民 間事業者への 公共事業等入 札における加 点制度につい て ② 再犯防止推進 計画等につい て	1027, 1028
7.10.28	7.10.28 13:00～ 15:00	大阪府池田市 城南1-8-23	(株)プラステ コ	代表取締役 林龍太郎	プラスチック 由来の海岸漂 着物削減	1029 ～1033
7.11.9～ 11.11	7.11.10 9:30～ 16:45	東京都千代田 区永田町	衆・参議員会館 各省庁	石破議員他秘 書含め12名 観光庁、環境 省、内閣府、文 科省	要望活動	1108 ～1116
7.11.11～ 11.12	7.11.12 13:20～ 15:30	茨城県つくば 市	森林総合研究 所	高橋正義チー ム長、川村竜也 総括審議役	柳のバイオマ ス燃料として の栽培と展開 の可能性につ いてのレク	1108, 1117 ～1125
7.11.15	7.11.15 11:00～ 14:20	鳥取県鳥取市 永楽温泉町403	ホテルモナー ク鳥取	鳥取県日中友 好協会	臨時理事会と 鳥大・環大中国 人留学生意見 交換会	1126
8.1.10 8.1.11	8.1.10 9:20～17:40 8.1.11 9:20～12:00	米子市	米子コンベン ションセンタ ー		あいサポート フォーラム研 修	1208, 107～109, 110
8.2.22	8.2.22 13:30～14:30	鳥取市	白兔会館	鳥取県スポー ツ協会	表彰式出席	206

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	2025 年大阪・関西万博自治体向け研修「会場内説明会」「パビリオン」視察
活 動 年 月 日	令和 7 年 5 月 13 日 移動日 宿泊 研修：令和 7 年 5 月 14 日、午前 11 時 30 分～12 時 政務活動 日本館視察：同日午後 3 時 50 分から 4 時 30 分 政務活動
場 所	大阪市此花区夢洲中 1 丁目
活動の相手方	（公社） 2025 年日本国際博覧会協会
活 動 の 目 的	万博の内容の現地確認と地方誘客の可能性の調査
活 動 の 内 容	万博の概要と地域における万博の活用と紹介について当局より説明を受けた。 日本館等の視察
活動の結果等	視察当日の最高気温は 27 度。会場に十万人近い観客が入っており、一つのパビリオンを鑑賞するのに短くて 30 分、長いパビリオンでは 2 時間待ちであり、一日万博会場を回るだけでも大変体力を必要とする。関西広域連合のパビリオンは予約がなければ入ることができず視察ができなかった。鳥取県のパビリオンについては博覧会協会の説明の中でも特徴的なパビリオンとなっており大変好評を得ていると説明を受けた。鳥取県への誘客にどのように結びつくのか確認することができなかったのが残念である。万博のパビリオンの数は日本語紹介するものと比べ圧倒的に海外のものが多い印象を受けた。鳥取県をはじめとする地方への誘客にどのように結びつけるのか、今回の施設では手がかりとなることをつかむことができなかった。
関連領収書番号	507、508、509、510、511、512、513、514

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	流域治水の先進地視察
活 動 年 月 日	令和 7 年 5 月 20 日（火） P M1:30～4:00 政務活動
場 所	広島県竹原市の本川（2 級河川）
活動の相手方	広島県庁水頭河川課長ほか
活 動 の 目 的	塩見川の特定期都市河川指定にあたっての検討事項の調査
活 動 の 内 容	現地視察並びに担当者との意見交換
活 動 の 結 果 等	竹原市を流れる本川は平成 30 年の西日本豪雨と令和 3 年の 7 月の豪雨により氾濫し、本川流域の 300 戸弱で浸水被害が発生している。令和 4 年 3 月には特定都市河川流域指定に向けた手続きを開始し、同年 7 月には指定を受けている。現在、河川の拡幅整備（県）とポンプ場の整備（市）が行われている。 当該河川の流域は以前塩田であった土地が開発され住宅地になっている。また、満潮時の潮位が高いことから、河川堤防から溢水しやすい地形となっていた。工事現場は河口に近いことから河床掘削もできず、流下能力向上のためには川幅を広げる事しか選択肢はないとのこと。家屋移転を伴う拡幅工事を急ピッチで行っていた。 特定都市河川流域指定にむけた住民との合意形成については、住民が浸水被害を経験していることもあり、「雨水浸透阻害行為における雨水貯留浸透施設の義務付け規定」に対する抵抗感はなかったようだ。 なお、県が流域指定するにあたり竹原市が住民の意向を調査し、竹原市の同意を得ることで県は指定手続きを行っていた。開発が可能なエリアはほとんど無いことが、手続きがスムーズに進んだ一つの要因と感じた。 また、河川工学や都市計画の専門家も住民と一緒に合意形成を行うことも有効とのお話があり、大変参考となった。
関連領収書番号	515、516、517

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	次期介護保険事業計画策定に向けた検討状況の調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 6 月 2 日（月） 13:00～14:30 政務活動
場 所	衆議院第二議員会館第一会議室
活動の相手方	厚生労働省老健局 介護保険計画課長 大竹雄二 様
活 動 の 目 的	本県の介護を取り巻く環境や課題を国の計画に盛り込むこと
活 動 の 内 容	次期計画の検討状況の調査及び要望・意見交換
活動の結果等	1 これまでの介護保険での成果 2 これからの社会保障、世の中はどう変化していくのか 3 介護保険の見直しに向けた検討状況。現在やこれからの課題にどう対応していくのか 以上 3 点についてお話を伺った。 介護保険がスタートして 25 年、高齢者になくってはならない制度として、介護保険が定着してきた。在宅サービス利用者は 2000 年から 2022 年までの 25 年で 97 万人から 437 万人へ 4.5 倍の伸びとなっている。また、2040 年に向けて高齢者の人口増加が緩やかになる一方で、生産年齢人口の減少が加速化する。単身世帯の割合の増加、共働きの主流化、実質経済成長率の鈍化といった社会の変化も特徴的である。 今、第 10 期介護保険事業が検討されているが、その内容の一つとして人口減少に対する地域の対応が論点となっている。市町村が地域の実態に合わせて包括的にサービスを提供することも検討されているとの事。また人手不足の問題は介護業界にのみ限定されるものではなく、建設、運輸等様々な生活関連サービスで発生している。行政の立割ではなく、各分野の横断を刺すような連携を行いサービス提供に取り組んでいくことが重要であるとの見解を示された。 また、出席した各事業者からは、3 年に 1 度の報酬改定は物価の上昇局面では賃金の実態を反映しづらい。また、介護施設で利用者の食費の実態が公定価格を大きく上回っており補足給付制度の見直しも必要ではないか。具体的に、食費は 1 日 1445 円で決められている。1 人 1 日の実際の食費は 1900 円となっており、100 人規模の施設では 1 年間に 18,000,000 円の赤字となる。なんとかならないかとの切実な要望もあった。 6 月定例会で公明党として執行部に食費の物価高騰対策を打てるよう意見すべきと感じた。
関連領収書番号	601, 602, 603, 604, 605

令和7年5月吉日

各 位

介護保険を充実する会
代表 細田元教

第10期介護保険事業計画についての研修会及び意見交換会

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のことにつきまして下記の日時において、厚生労働省 黒田 秀郎 老健局長 様、大竹 雄二 老健局介護保険計画課長 様によります研修及び意見交換会を開催することになりました。

この度、大変お忙しい中、研修会の機会を得ることができました。行政のお立場から令和9年度の改正に伴います社会保障・介護保険制度のこれからについてご教示頂く機会となろうかと存じます。

参加を希望されます方は、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

敬具

記

◇日 時 : 令和7年6月2日(月) 12時30分～

◇場 所 : 東京都千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館 ロビー集合

◇会 場 : 衆議院第二議員会館 第一会議室(地下1階)

◇次 第 :

13:00～13:05 挨拶 谷合 正明 参議院議員

13:05～13:30 挨拶 厚生労働省 黒田秀郎 老健局長

13:30～14:30 講演 厚生労働省 大竹雄二 老健局介護保険計画課長

14:30～14:40 休憩

14:40～15:40 質疑応答

以上

活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	2025 年大阪・関西万博視察（鳥取県の日）
活 動 年 月 日	移動日：令和 7 年 6 月 30 日 前泊 研修：令和 7 年 7 月 1 日、午前 10 時 30 分～17 時
場 所	大阪市此花区夢洲中 1 丁目
活動の相手方	鳥取県食パラダイス推進課ほか関係部署
活 動 の 目 的	鳥取県の日、各種イベント視察
活 動 の 内 容	因幡の傘踊りほか民族芸能 水木しげる物語リーディング 平原綾香コンサート 鳥取県ブース視察
活動の結果等	酷暑にもかかわらず大勢の観客でにぎわった。 鳥取県ブースでの仕掛けも体感でき、工夫を凝らしており、人気のブースの所以を確認できた。
関連領収書番号	902

活動報告（県外）

議員名：前田 伸一

活動事項	輪島港の視察
活動年月日	令和7年7月23日（水）10:50～11:30 政務活動
場所	石川県輪島市
活動の相手方	能登港湾復興推進室
活動の目的	能登半島地震からの復興調査
活動の内容	現地調査
活動の結果等	輪島港は、令和6年の能登地震で海底が隆起。最高2m海底地盤が上がったことから、現在も港内の浚渫を行っている。 また、震災発災後、港は全壊とはならず、補修を加えレバ利用できる状況であったことから、被災地への水等救援物資の搬入に輪島港が活用されたとのことであった。 道路網が脆弱なエリアにおいて、有事の大量の物資運搬が可能な船舶と港湾施設の重要な手段である。 岸壁の災害復旧は国交省が代行で実施している。鳥取港においても普段からの災害への備えを国県市が連携し行っていくことが重要と感じた。
関連領収書番号	※議連関係経費資料参照

活 動 報 告 (県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	七尾港、和倉港の視察
活 動 年 月 日	令和7年7月23日(水) 14:00～16:00 政務活動
場 所	石川県七尾市
活動の相手方	能登港湾復興推進室
活 動 の 目 的	能登半島地震からの復興調査
活 動 の 内 容	現地調査
活 動 の 結 果 等	○七尾港 七尾港のある能登地方は山陰と似た地勢となっている。 七尾港の利用実態は、木材(外材)と港の近くにある火力発電所で使用する石炭が中心である。 鳥取県は皆伐再生林に力を入れている。岡山県北部や兵庫県北部でも皆伐再生林に力を入れて、圏域の森林資源を有効活用しなければならない。鳥取港を活用して木材を搬出する道筋を林業部門と港湾部門が一体となって進めるべきと感じた。 ○和倉港 石川県の有名な温泉地和倉温泉も能登半島地震で大きな被害が出ており、温泉旅館加賀屋も被災し、いまだ営業再開に至っていない。和倉温泉の魅力は各旅館の露天風呂から海が見えるシチュエーションにあるとのこと。 海岸護岸も地震で被災し、急ピッチで復旧工事を行っていた。海岸線は管理者ごとに行なっているが、七尾市の管轄部分は国交省と委託契約をかわし、国交省が代行で復旧工事を行い、一部民有地についても所有者が七尾市に寄贈を行った後国交省と七尾市の委託契約により国交省が工事を実施している。 有事の部門を超えた連携が復興をスピードアップすることになる。 鳥取でも参考になる事例と思う。
関連領収書番号	※議連関係経費資料参照

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	金沢港の視察
活 動 年 月 日	令和 7 年 7 月 24 日（木） 9:30～11:00 政務活動
場 所	石川県金沢市
活動の相手方	石川県
活 動 の 目 的	物流、クルーズ、復興状況の調査
活 動 の 内 容	現地調査
活 動 の 結 果 等	金沢港は昭和 38 年の三八豪雪で陸上輸送での物流が滞ったことが契機となり海上輸送の機能強化を目的に昭和 39 年重要港湾に指定されている。また平成 19 年には大手機械メーカーのコマツが石川県から茨城に移転する話が持ち上がり、行政や経済界が地域経済への影響を憂慮し国に金沢港の整備を要望した結果、国際ターミナルの整備が進みコマツの移転は白紙となった。このようなエピソードの紹介があった。翻って鳥取港を見たとき自社製品を輸出できるような大企業はなく鳥取港の利便性をフル活用できる産業の育成が望まれる。そのためにも鳥取港の後背地の整備と地場産業の育成強化が喫緊の課題である。金沢港はクルーズ船誘致にも力を入れている。具体的には令和七年度の取り組みとして SNS を活用した情報発信、また、クルーズ船の受け入れ体制の整備として金沢港クルーズウェルカムクラブを設立している。現在会員数は 9 0 0 0 人を突破しているとのことであった。 日本は高齢化に伴いクルーズ人口が今後 1 0 倍程度拡大することが期待されており有望な市場となっている。金沢港クルーズターミナルを現地見学し、新たな港の賑わいの拠点としてコンサートや展示会、ステージイベントなどを随時催しているとのこと。単なる物流拠点ではなく、賑わいの拠点としての港の活用は本県の港湾整備と活用に参考となる事例であった。
関連領収書番号	※議連関係経費資料参照

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	高知県庁の視察・調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 9 月 8 日（月） 13:00～14:30 政務活動
場 所	高知県南国市物部 200 高知大学物部キャンパス
活動の相手方	水族栄養学教室教授 深田陽久
活 動 の 目 的	水産業における女性・若者の活躍推進についての調査
活 動 の 内 容	飼料確保・開発・魚病予防、効率的な養殖システムの開発について資料をもとにレクチャーを受けた
活動の結果等	世界の養殖の実情は、中国・アジアでの伸びが圧倒的であり、アフリカでも徐々に伸びている。ヨーロッパは伸びていない。世界の養殖は内水面が 6 割、海面が 4 割。日本は海水面がメインで、生産量はブリ、タイ、クロマグロの順となっている。 日本の内水面ではウナギが多い。海面生簀の特徴は赤潮と高水温の影響を受けること。長崎のある地域で全滅の事例あり。 陸上生けす（かけ流し）：設備コストが低廉であるものの水温調節や海水の場合塩水による機器へのダメージが大きい。 陸上生けす（閉鎖循環式 Ras）：基本的に病気フリー。しかしゲオスミン臭が生じるため臭み抜きが必要。電気代などのランニングコストもかかる。 養殖の効率化のためには良い受精卵または稚魚をとること。日水は稚魚を自ら作りその技術が漏洩しないようにしている。漁病への対策はワクチンが主となっている。しかしワクチンも絶対ではない。養殖技術は専門性が問われることから学術機関との連携が必要と感じた。また流通・加工・販売・レストランの業者間の協力連携が必須であり、水産業単独の努力で成功するものではないことがわかった
関連領収書番号	903,913

活 動 報 告（県外）

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	高知県庁の視察・調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 9 月 8 日（月） 15:00～16:30 政務活動
場 所	高知県庁
活動の相手方	高知県水産業振興課土井課長ほか 2 名
活 動 の 目 的	水産業における女性・若者の活躍推進についての調査
活 動 の 内 容	資料に基づくヒアリング
活動の結果等	高知県は平成 5 年に 816 千人の人口が令和 5 年には 676 千人と人口減が加速化し、その要因として女性の転出が多いことを挙げている。全庁的に女性活躍推進事業を展開しており、水産関係でも女性が働きやすい環境整備を行っている。その柱が「高知水産女子会」の立ち上げである。女子会ミーティングや長崎県への視察を通し、課題と解決策を提案している。 女子会は女性が漁業に従事するために、雇用型漁業で体力的な負担と精神的な負担を減らすことを提案している。令和 8 年度、5 人以下の定置網漁船、漁網の調達を通しモデル事業を展開し、女性の働く環境の整備を行っていくとのことであった。 漁業に従事したいと思っている若者・女性の声を聴くところから事業を展開していた。モデル事業がどのような効果を高知県にもたらすのか来年度以降改めて調査したいと思った。
関連領収書番号	903, 913

活動報告(県外)

議員名：前田 伸一

活動事項	政策要望
活動年月日	令和7年10月8日(水) 移動日 宿泊 令和7年10月9日(木)10:20～10:40 政務活動
場所	総理官邸
活動の相手方	石破内閣総理大臣
活動の目的	政策要望書の提出
活動の内容	地方創生ほか政治状況を含め意見交換を行った。
活動の結果等	約1年にわたる国政の舵取りについての所感を伺った。
関連領収書番号	1009～1017

内閣総理大臣
石破 茂 様

要 望 書

公明党鳥取県議会議員団

令和 7 年 1 0 月 9 日

令和7年10月9日

内閣総理大臣
石破 茂 様

要 望 書

石破総理におかれましては、就任から一年余り、国内外の諸課題に粉骨砕身して当たられ、多くの成果を残されました。心より御礼申し上げます。

石破総理が掲げられた、地方創生の推進、東京一極集中の是正、防災体制の構築などの政策を、今後とも進めていただきますようお願い致します。

また、地方の典型でもある鳥取県におけるインフラ整備には、特に力を注いで頂きますよう要望致します。

公明党鳥取県議会議員団

団 長 銀杏 泰利

幹事長 前原 茂

政調会長 前田 伸一

活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	広域リージョン連携のレク
活 動 年 月 日	令和7年10月8日(水) 移動日 宿泊 令和7年10月9日(木)13:30～14:30 政務活動
場 所	衆議院第1会館 竹内議事務所
活動の相手方	総務省自治行政局行政課 藤本元太理事官
活 動 の 目 的	広域リージョン連携の概要把握と本県の可能性調査
活 動 の 内 容	担当者からのヒアリング
活動の結果等	【ヒアリング内容】 ○中国ブロックの担当県が鳥取県となっており、現在具体的プロジェクトを検討している最中であること。 ○観光面での活用案の一つは「共同での観光プロモーション」 ○輸送インフラのハード整備とソフトの関係も重要な視点 ○九州では九州創生戦略会議を立上げアクションプランを策定している。九州は広域リージョン連携の先進地。農産品の共同輸出も検討している。
関連領収書番号	1009～1011、1012、1013～1016、1017

活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	第 18 回日中友好交流会議
活 動 年 月 日	令和 7 年 10 月 19 日(日) 移動日 宿泊 令和 7 年 10 月 20 日 (月) 9:00～15:40 政務活動
場 所	茨城県日立市日立シビックセンター
活動の相手方	(公社) 日中友好協会、中国対外人民友好協会、中日友好協会
活 動 の 目 的	自治体レベルでの日中友好活動の現状と今後の方向性のあり方の調査
活 動 の 内 容	第 18 回日中友好交流会議茨城大会のメインテーマは「新しい地方間交流」であり、これまでの実績と未来に向けての交流のあり方について基調講演と分科会に分かれての議論を聴講した。
活 動 の 結 果 等	日立シビックホールには日中友好の歴史がパネル展示され、日中国交回復に至るまでの先人のご尽力や国交回復後の交流についてもち系列で交流の流れがわかるような展示内容であった。鳥取大学が進めてきた河北省での植林事業についてもパネルでの紹介があった。 また、大会に先立って行われた 19 日のレセプションで呉江浩駐日大使をはじめ雲南省人民外事弁公室の皆さんと交流を図ることができた。 20 日の本会議では、日中友好協会会長の宇都宮徳一郎氏と中国人民対外友好協会副会長の袁敏道から基調講演があった。 講演内容は次の通り 日中の現状は、台湾問題等厳しい状況が続いている。両国民のあて国に対する好感度も低いままである。国際情勢もアンチグローバリゼーションの進展や陣営間の対立により日中民間交流も影響を受けている。今後の活動のポイントは大きく次の 4 点 1. 日中友好の旗を高く掲げること 友好の種がまかれ、基礎がつくれた。268 の都市交流実現。 4 原則を守ること。 2. 交流の成果を知らしめること 交流の成果が知られていない。 官ではなく民の交流プロジェクトの強化が必要 3. 友好の松明をつないでいくこと 良いものは継承していく。新たな交流の形の模索も必要。 (クリーンエネルギー、アニメ等) 4. 若者の友好活動を推進すること (インターネットイブの世代は SNS が隠れた障壁になっている。) 終了後、中国人民対外友好協会袁敏道副会長と名刺交換を行い、鳥取県における燕趙園をはじめとする日中友好の取り組みや航空路線米子—上海便の復活等について意見交換を行った。 また、中国の現実を自分の目で見て理解することが大切であると思った。
関連領収書番号	1020、1021～1024、1025、1026

2025年 7月11日 11時50分

公益社団法人日本中国友好協会

NO. 5337 P. 1

鳥取県日中友好協会様

第18回日中友好交流会議 実施要項



交流会議会場の日立シビックセンター

開催日：2025年10月19日(日)・20日(月)
会場：茨城県日立市 日立シビックセンター
主催：公益社団法人日本中国友好協会
中国人民对外友好協会 中国日本友好協会

2025年 7月11日 11時50分

公益社団法人日本中国友好協会

NO. 5337 P. 2

第18回日中友好交流会議について**【主催】**公益社団法人日本中国友好協会 中国人民対外友好協会 中国日本友好協会**【主管】**NPO 法人茨城県日本中国友好協会**【後援】**(特)外務省 中華人民共和国駐日本国大使館 茨城県 茨城県内自治体 (一財)自治体国際化協会**【開催日】**2025年10月19日(日)・20日(月)**【会場】**茨城県日立市

オープニングセレモニー:日立シビックシビックセンター 新都市広場(茨城県日立市幸町1-21-1)

歓迎レセプション:ホテルテラスザスクエア日立 テラスボールルーム(茨城県日立市幸町1-20-3)

開会式・全体会議・閉会式:日立シビックシビックセンター 音楽ホール

分科会:日立シビックシビックセンター 多用途ホール・会議室

【日程】

○ 10月19日(日)

13:00~20:00 受付 日本側 日立シビックセンター 1F 会議室 101号

受付後、宿泊場所へ、または荷物を預けてバンダフェス、イベント参加

時間未定 茨城県-陝西省 友好県省締結調印式 会場:未定

15:00~16:00 オープニングセレモニー 会場:日立シビックセンター 新都市広場

16:00~20:30 歓迎レセプション 会場:ホテルテラスザスクエア日立 テラスボールルーム

○ 10月20日(月)

9:00~11:30 全体会議

会場:日立シビックセンター 音楽ホール

11:45~12:45 昼食

会場:ホテルテラスザスクエア日立 テラスボールルーム

13:00~14:45 分科会

会場:日立シビックセンター 2F 多用途ホールほか

15:00~15:40 閉会式

会場:日立シビックセンター 音楽ホール

【全体テーマ】「地方都市間の新しい交流」(仮題)**【分科会テーマ】**(予定) ①地域間相互連携 ②先人に学ぶ ③若者の活躍 ④文化・スポーツ**【参加者】**(予定) ○日本側 (1) (公社)日中友好協会 理事・監事
(2) 都道府県日中友好協会 役員・会員

○中国側 (1) 中日友好協会代表団

(2) 中国各地方対外友好協会代表団

2025年 7月11日 11時50分

公益社団法人日本中国友好協会

NO. 5337 P. 3

【登録料】 28,000 円 (7/14 までの早期割引料金。7/15 以降のお申込み・追加は 33,000 円)

※ 10/19 レセプション参加費、10/20 昼食費と会費参加費が含まれています。

【宿泊】 宿泊は各自で手配願います。以下の近隣ホテルの利用が便利です。

東横イン日立駅前(茨城県日立市幸町 1-3-6) 1泊朝食付き 7,100 円～

TEL (0294) 89-1045 <https://www.toyoko-inn.com/search/detail/00082/>

ホテルウイングインターナショナル日立(茨城県日立市幸町 1-5-12) 1泊朝食付き 7,150 円～

TEL (0294) 23-2111 <https://www.hotelwing.co.jp/hitachi/>

ホテル日立プラザ(茨城県日立市幸町 2-3-25) 1泊朝食付き 8,500 円～

TEL (0294) 21-7111 <https://breezbay-group.com/hitechiplaza/>

【オプション】 (添付の宿泊オプションプランのご案内をご参照ください)

前泊 パンダフェスバック (日程) 10月18日(土)、19日(日) 参加費 25,000 円

10/18 18:00 日立シビックセンター集合、国民宿舎「鶴の岬」へ

18:30 「鶴の岬」到着

19:00 茨城の地産食材を使ったお食事・温泉・太平洋の眺望をお楽しみください

10/19 9:00 「鶴の岬」出発

10:00 日立シビックセンター新都市広場にて、パンダフェスをお楽しみください

後泊 エクスカーションバック (日程) 10月20日(月)、21日(火) 参加費 25,000 円(A, Bバックとも)

10/20 17:00 日立シビックセンター集合、国民宿舎「鶴の岬」へ

17:30 「鶴の岬」到着、夕食・宿泊

19:00 日中友好「記念懇親会」、温泉・太平洋の眺望をお楽しみください

10/21 9:00 「鶴の岬」出発

Aバック

10:00 国営ひたも海浜公園(コキア鑑賞)

11:30 大洗海鮮市場(昼食は各自)

12:45 JR 水戸駅にて解散

Bバック

9:45 常陸太田市観光果樹園(シャインマスカット狩り)

11:30 常陸秋そばの昼食

12:45 JR 水戸駅にて解散

2025年 7月11日 11時50分

公益社団法人日本中国友好協会

NO. 5337 P. 4

【お申込み・お支払方法】

1. 参加者の取りまとめにつきましては各県協会ごとに行ってください。
2. 「第18回日中友好交流会議申込表」を7月14日(月)までにメール(データ)添付にて下記アドレスまでお送りください。
「第18回日中友好交流会議申込表」は漏れなく入力をお願いいたします。
3. 「第18回日中友好交流会議申込表」にて参加人数が確定しましたら、交流会議登録料(28,000円×人数分)、オプション参加費の請求書をお送りいたします。各県協会にて一括して(公社)日中友好協会へお振込みをお願いします。

【お申込み締め切り】 7月14日(月)

※ 期日を過ぎてのお申込みや追加の場合、登録料はお一人33,000円となりますのでご注意ください。なお、早期割引料金・通常料金ともキャンセルの場合は8月末まで20%、9/20まで50%、10/10以降は100%のキャンセル料がかかります。最終締め切りは8月18日(月)といたします。

【問合せ・申し込み先】

公益社団法人日本中国友好協会 担当: [REDACTED]

〒111-0043 東京都台東区駒形1-5-6 金井ビル 電話: 03-5811-1821 FAX: 03-5811-1532

E-mail: 2025kaigi@j-cfa.com

活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	兵庫県の再犯防止の取組の調査
活 動 年 月 日	令和7年10月28日(火) 10:00～11:00 政務活動
場 所	兵庫県庁第3庁舎
活動の相手方	土木部契約管理課主幹半沢和也 県民生活部くらし安全課課長舟川直輝 県民生活部特殊詐欺等対策課日野精二
活 動 の 目 的	再犯防止計画の概要と公共工事における社会的貢献の評価(協力雇用主)についての調査
活 動 の 内 容	担当者からのヒアリング
活動の結果等	○入札契約における社会貢献評価制度 兵庫県は全兵庫県知事の移動県知事の時代に企業の社会貢献を底上げする方針をとっている。社会貢献評価活動の項目も刑務所出所者等の雇用を含め十項目存在し行政の積極的姿勢を読み取ることができる。業界からの昨今の人手不足の状況から出所者等の雇用促進項目を評価制度に加えることに対し好ましいとの評価を得ているようだ。しかし刑務所内で出所後就職の際に有効となる技能を習得するチャンスは少ない。受刑者の役務は木工製造や革製品の製作などが多く、出所後の就労の選択肢の幅が狭い状況となっている。 出所者は生活するために収入の高い大都市への就職を希望する人が多い。建設業自体の就労環境の改善や厳しい環境でもそれに見合った収入が確保できる処遇改善を全体的に図らないと単に出所者の就労受け入れる協力事業者が増えても就労に結びつかない現実がある。 社会全体で地道ではあるが出社の再犯を防止する意識の醸成を図っていく必要があると感じた。 ○再犯防止推進計画について 兵庫県の全国の自治体と同様に、再犯防止計画を策定し関係者とともに取り組みを行っている兵庫県の再犯者率は48.4%で鳥取県と同じレベルである。兵庫県の再犯防止更生支援に係る取組の中で個別具体のテーマを設定し市町村をはじめとする関係者との意見交換を行っている。出所者の社会的支援には市町村の協力が不可欠であることから今日か兵庫県は市町村との連携強化を図っているとのことであった。
関連領収書番号	1027, 1028

前田議員 兵庫県庁視察日程【10月28日(火)】 (案)

<往 路>

6:36 発 鳥取駅
9:00 着 三ノ宮駅

<JR 特急スーパーはくと2号>

神戸市営地下鉄(三宮駅)
→ 「県庁前」下車

<市営地下地下鉄>
西神中央・名谷方面へ一駅(乗車時間1分)

神戸市営地下鉄「県庁前」駅から、西出口へ
→ 兵庫県庁舎3号館1Fロビーで、担当者が待ち受け

■日 時: 10月28日(火) 午前10時～

※ 兵庫県庁3号館1階ロビーにて、開始時間前に、
議会事務局の敏森(としもり)様(女性職員)が、待ち受け

■会場: 兵庫県庁3号館 2階 議員応接室

■連絡先: 兵庫県議会事務局 敏森様 078-362-4137

■内 容:

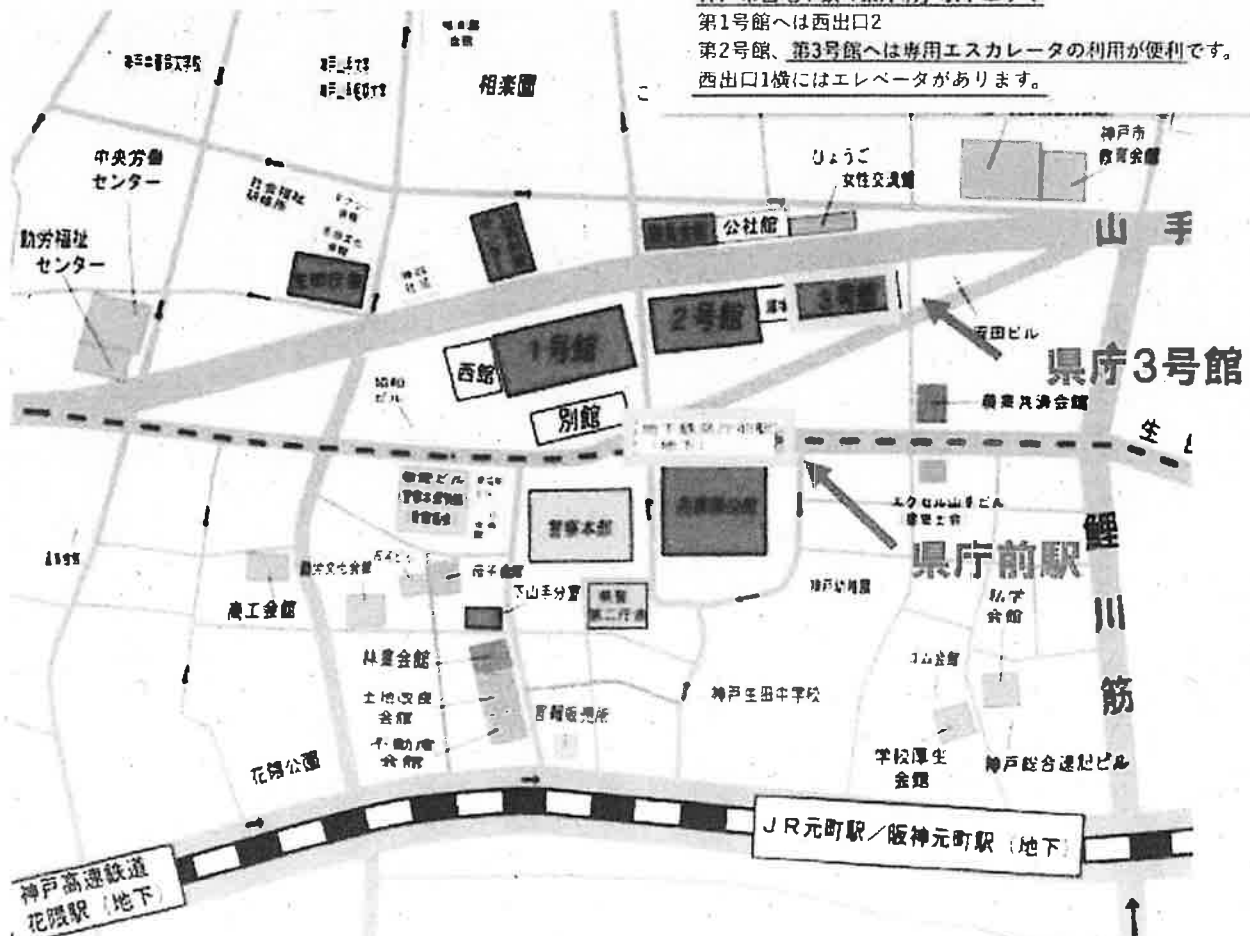
テーマ	担当課
① 刑務所出所者を雇用(新たに受入)する民間事業者への公共工事等入札における加点制度について	土木部契約管理課
② 再犯防止推進計画等について(計画全体の概要や施策の取組状況など)	県民生活部くらし安全課

※①、②ともに30分程度で担当課入れ替え制による

県庁周辺の地図

兵庫県庁への交通アクセス

- ・ JR西日本・阪神「元町」駅西口下車北へ徒歩約8分
- ・ 神戸市営地下鉄「県庁前」駅下車すぐ
第1号館へは西出口2
第2号館、第3号館へは専用エスカレータの利用が便利です。
西出口1横にはエレベーターがあります。



活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活 動 事 項	生分解性プラスチックの調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 10 月 28 日 (火) 13:00～15:00 政務活動
場 所	株式会社プラステコ 大阪府池田市城南 1 丁目 8-23
活動の相手方	代表取締役 林龍太郎
活 動 の 目 的	プラスチック性海岸漂着物の削減
活 動 の 内 容	ヒアリングとプラント施設の確認
活 動 の 結 果 等	プラステコの上記ミッションは発泡プラスチックに関連する次の 4 点 1. 世界の有害化学物質温暖化効果ガス可燃性ガスの使用撤廃 2. 既存の使い捨て発泡プラスチックの生分解性プラスチックへの転換 3. 高性能断材極薄発泡素材高機能性発泡素材を微細発泡プロセスに転換 4. 発泡プラスチック用機械設備を超臨界発泡設備へ転換 中国企業のレノボは当企業の技術を活用しパソコン等の梱包材料を制作しているとのことであった。中国は発泡スチロールを埋め立て処分していることから生分解性プラスチックの需要が増えている。しかし日本ではプラスチックの再利用が主となっており、生分解性プラスチックの活用は進んでいない。 しかし漁業で使用するブイは、マイクロプラスチックの元となる発泡スチロールが世界的に使用されており、海洋汚染や漂着ごみの元となることから生分解性プラスチックへの転換が世界的に推進が急務となっている。当社は環境省ならびに水産庁へ漁業用ブイへの使用について働きかけをしているものの国の動きは鈍く現場での利用は進んでいないとのことであった。 鳥取砂丘の海岸線を歩くとプラスチックや発泡スチロールできた漁具の漂着物が大変目につく状況である。一年に 2 回砂丘一斉清掃が行われるが体積・重量のある漁具（網・ブイ）は撤去がままならず放置されている。 当社の技術を活用し漁具の生分解性プラスチック化を国を挙げて推進すべきである。 なお生分解性プラスチック材料は高価であるが、微細な気泡を大量に発泡剤として使用する技術を持っていることから、値段としては現在販売されている発泡スチロールと同等の価格で販売できる見通しがついているとのことであった
関連領収書番号	1029～1033

不活性ガス発泡×バイオプラスチックでエコ実現！

株式会社プラステコ

発泡プラスチックと環境問題

発泡剤による環境問題

- ・化学発泡剤 ⇒ 化学物質規制
- ・代替フロン ⇒ 強力な温暖化ガス
- ・石油ガス ⇒ 可燃性
温暖化効果ガス



不活性ガス発泡による解決

- ・安全性 ⇒ 無毒性
非可燃性
- ・温暖化効果ガス ⇒ 従来発泡剤の
数十～数百分の一

発泡プラスチックのゴミ問題

- ・発泡プラスチック ⇒ 埋立時に嵩が張る
- ・非生分解性 ⇒ いつまでも腐らない
- ・低密度 ⇒ 海上を浮遊⇒海洋ゴミ
⇒ マイクロプラスチック



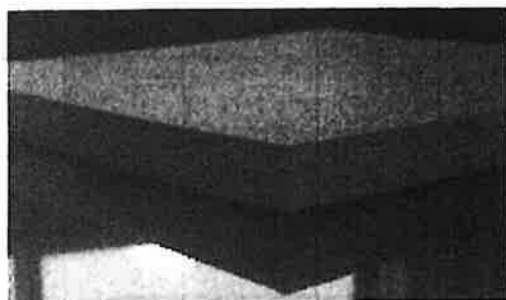
不活性ガス発泡による解決

- ・生分解性樹脂を発泡 ⇒ 土中で水とCO2に分解
- ・高倍率発泡 ⇒ 発泡スチロール代替
- ・海上利用 ⇒ 海中では分解しない
生体内代謝性

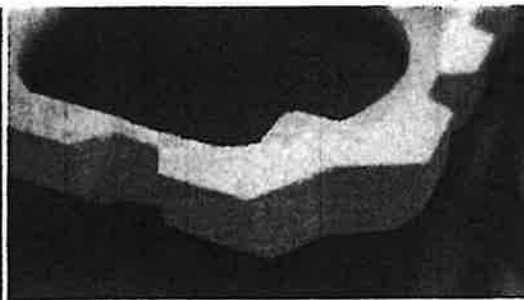
CO₂発泡PLA製品例（生分解性発泡プラスチック製品）



発泡PLAビーズ成形品（30~60倍発泡）



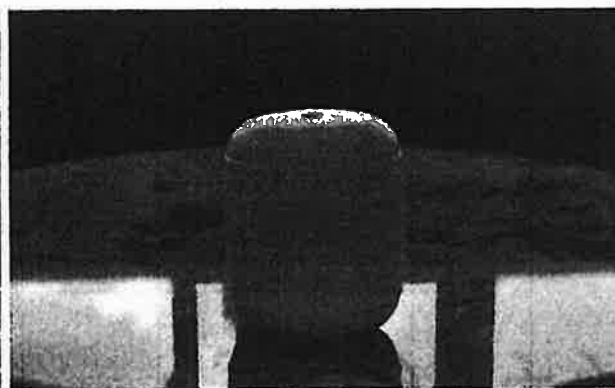
断熱材



梱包材

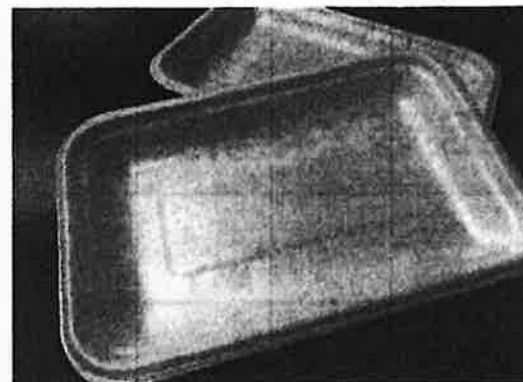


農業用途（原木椎茸菌種用）



海洋用途（水産用フロート）

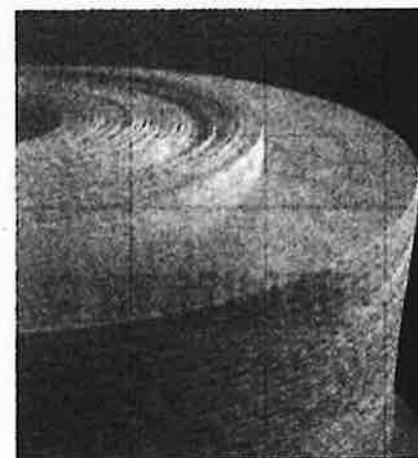
発泡PLAシート成形品（5~20倍発泡）



食品トレイ



使い捨て食器



緩衝材



フルーツネット

活 動 報 告(県外)

議員名： 前田 伸一

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会による国要望
活動年月日	令和7年11月9日(日) 移動日、前泊 令和7年11月10日(月) 9:30～16:45 政務活動、後宿 ※11月11日(火) 終日、都道府県議会議員研修(公務)
場所	衆・参議院会館(東京都千代田区永田町2丁目2-1) ほか
活動の相手方	国会議員、関係省庁
活動の目的	ジオパーク活動への支援要請
活動の内容	関係議員、関係省庁担当者との意見交換
活動の結果等	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会(京都府・兵庫県・鳥取県)のジオパーク活動への支援の要望活動に参加した。 山陰海岸ジオパークは山陰海岸国立公園とエリアが重複しており、ジオパーク関連の経済活動を行うにあたって国立公園の規制を受けることから、特に海岸エリアでの工作物設置について規制緩和を求める要望を行った。環境省自然環境局堀上局長より、ジオパーク活動と合わせて会場遊具等設置するのであれば国立公園内での会場遊具の設置について説明がつくのでそのあたりを検討していただきたいとのことであった。 鳥取県東部から京都府北部にかけてのエリアは交通網が脆弱であり、山陰海岸ジオパークを核とした観光客誘客のためにも鉄道航空路線自動車道の整備を強く国会議員と国交省の方に要請を行った。概ねこちら側の意向は理解をしていただいたと確信している。
関連領収書番号	1108～1116

活動報告(県外)

議員名：前田 伸一

活動事項	柳のバイオマス燃料としての栽培・展開の可能性についての調査
活動年月日	令和7年11月11日(火曜日) 東京より移動、茨城県龍ヶ崎市で前宿 令和7年11月12日(水曜日) 13:20～15:30 政務活動
場所	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 (茨城県つくば市松の里1)
活動の相手方	早生樹林管理担当 高橋勝美チーム長 総括審議役 川村竜哉
活動の目的	本県での柳のバイオマス燃料の栽培展開の可能性調査
活動の内容	座学および農場の視察
活動の結果等	座学の内容については別紙のとおり。 柳栽培を商業化するには、大規模でまとまった農地が必要となる。ことから中山間地域よりも平野部の農業不適地が柳栽培に適していることが分かった。ただ、柳の栽培特性として水はけが良く地下水が高いところでよく生育するとのことであった。本県平野部での耕作放棄地は水はけが悪く農作物の栽培に不向きなことが理由になっている現状がある。これらの地域で柳の栽培の可能性について研究する余地がある。 NEDO の補助金を活用した事業は全国でも数ヶ所と限られている。本県の将来のエネルギーの地産地消や耕作放棄地を広げない適地適作の観点から本県の土壌や気候に適した柳の種類の選定を含む研究を進めるべきであると感じた。森林総研の担当者のお話では、柳にもさまざまな種類があり収穫量の多い柳の穂木生産体制の確立は不可欠であるとのこと。乾燥収量で10トン/年/畝の収量が確保できれば商業ベースに乗ることが想定されている。境港市でバイオマス発電事業者による柳野栽培研究が行われると行われていると伺った。農水省は柳を含む早生樹の農地での短期栽培に対し柔軟な見解が示されたところであり、県内の農業委員会とも調整し、平野部での耕作放棄地対策として柳を含む早生樹の林業を推進すべきと感じた。
関連領収書番号	1108, 1117～1125